



駅における体制の見直しについて提案を受ける

地本は4月15日「駅における体制の見直しについて」提案を受けました。新潟駅全線高架化により仮万代口出改札廃止に伴う業務の置き換え、作業ダイヤ見直しによる体制見直しについて提案を受けました。また上沼垂信号場の新潟駅管理箇所とすることも提案を受けました。東日本ユニオンは関係する組合員と議論を深め、安心して働ける労働環境の実現を目指し取り組んでいきます。

■ 提案項目 ■

1. 新潟駅では、全線高架化に伴い、業務執行体制の見直しを行う。管理体制については、内勤執務室の集約や、一般社員への業務置き換えを踏まえ、副長の作業ダイヤを一部見直す。営業体制については、仮万代口の出改札閉鎖に伴い、出改札と案内業務の作業ダイヤを一部見直すほか、企画・分任業務を新設する。

●対象箇所及び実施時期 新潟駅【2022年7月1日】

上沼垂信号場は、新潟駅を管理箇所とする駅長無配置化を実施し、新潟駅との業務融合を加速する。

●対象箇所及び実施時期 上沼垂信号場【2022年7月1日】

2. 体制について

●（現行）新潟駅【管理】変形 9 交代 3 計12

【一般】変形19 交代17 計36

（改正）【管理】変形 9 交代 2 計11

【一般】変形15 交代16 計31

●（現行）上沼垂信号場【管理】交代1 【一般】変形1 交代1 計2

（改正）新潟駅（上沼垂信号場）【管理】交代1 【一般】変形1 交代1 計2

管理箇所 新潟駅

*業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。

*上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。